

RENDEZVOUS

(ランデブー)

読書を通して思うこと

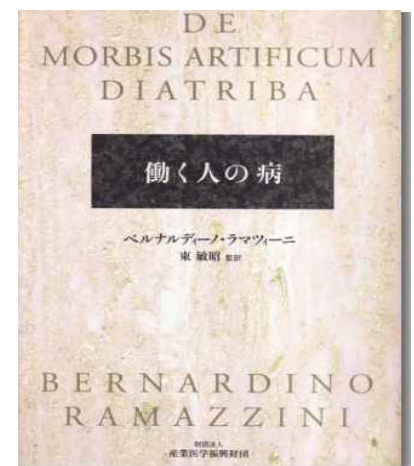
人間健康学部教授 中島美繪子

本との出会いでは、学校の図書館を利用して興味のおもむくままに、理解できるものも出来ないものも読んだ高校時代、たまたま高校の図書館の書架に並んでいたマルタン・デュ・ガールの長篇小説「チボー家の人々」が印象深い。主人公のジャック、規律を押し付けようとする父親、医者になる兄、友人、姪や友人の妹と織りなす人間模様、第一次世界大戦前のフランスの歴史のうねりの中での暮らしや思いが伝わってきたことを覚えている。スイスで平和運動に加わって戦争（第一次世界大戦）を食い止めようとし飛行機に乗ってピラをまくジャックに熱いものを感じたりした。主人公の兄である医師やその婚約者のナースを通して当時のフランスの医療や医療制度を垣間見たりした。

大学生になって、初めて文学のジャンル以外の書物に触れた。大学の講義で紹介されて読んだ本、ルース・ベネデクトの「菊と刀 日本文化の型」は当時の私には難解で読みにくかったが、青春時代の思い出と共に印象に残っている。初めて文化人類学の領域に触れた。米国に住む日系人以外に日本人に会ったことがなく、1度も来日したことのないベネデクトが、日本に関する多くの事例・事実・データを資料として用い、日本・日本人・日本人の人生観・日本社会を分析し説明が加えられていて、あたり前と思っていたことで気付かされるが多かった。日本社会のヒエラルキー、恩と恩返し、義理、名誉、人情、道徳基準、内と外、恥の文化など行動・習慣・考え方について、日本文化に関する沢山の具体的な例をあげ論じていた。例えば、赤穂藩浅野内匠守の徳川將軍家に対する「忠」と名に対する「義理」を論じ、浅野侯を世慣れない一徹もので儀式に必要な作法の指南役である吉良侯に「贈物」をする才覚が働かなかつたとし、殿中で刀を抜くことは「忠」に反する行為だが、吉良侯の侮辱に復讐することは名誉を重んずる人間として、名に対する「義理」であり、「義理」という点では立派な行動をしたのであるが、「切腹」以外に「忠」と和解する道はなかったとしていた。政治学の京極純一先生は、「第二次世界大戦中・戦後駐留軍の対日政策に反映された」と語っておられた。振り返ってみると、学生時代の講義や実習、ゼミや合宿、先生方や友人、下宿先など勉学を支えてくれたものは数多くあるが、乱読・精読を通じて直接体験できない時代や知らない国・場所、学問の分野、人の考え・行動などについて、読書を通じて得られたものも大きい。

このところ、読む本は専門分野に関わるものが多い。最近読んだものでは、ベルナルディーノ・ラマツィーニ；東 敏昭監訳、「働く人の病」がある。1700年、手工業の時代のイタリアで著わされた書物である。ラマツィーニは医師で、診察しながら、職業に特有の病気があるのではないかと考えた。

タバコは関心のある研究分野なので、文中の「タバコ職人の病気」についてすこし触れたい。当時のイタリアでは、タバコ葉は縄状に巻かれた状態で輸入され、タバコ職人が葉を開き、馬に臼をひかせ粉末にした。碾き臼を廻す間、職人は葉を投げ入れるが、細かい粒子の煙が広く拡散し、強い臭いにより、頭痛、めまい、吐き気などに悩まされた。巻かれたタバコ葉を終日ほぐしている職人はひどい吐き気と激しい下痢に悩まされ、巻かれたタバコの上に座っていると痔出血があったとしている。ひどい臭気と飛散する粉塵を大量に吸い込み、肺と気管に影響を与え、脳を麻痺させ、胃酸を弱め消化機能が阻害されるとし、職業に特有の高濃度の曝露として捉え対応した。また、当時のタバコに対する人々の認識として、使用法によってはクスリの効用もあるとしながらも、「胃が黄色に染まる」、「肺がたるみきり、かわき、萎びる」、「解剖例で深刻な肺や脳の損傷がみられる」など解明された点に言及した。タバコ税が財源になっていることなどにも触れ、様々な問題を引き起こすかもしれないとした。今日のタバコ問題を考えるとき興味深いものがある。他に鉱山労働者、陶工、鍛冶屋、ぶどう酒職人、織女工の病気・・・等など、実際に作業現場を訪れ、病気と職業との関連で観察・問題点の把握等を行い正確に記載した。労働衛生の父と



いわれる所以である。関連する専門書に目を通す・読むことは、学問的に刺激を受けるところも多い。園田学園女子大学に人間看護学科が加わり2年が経過した。看護・保健医療関係の文献が大分増加した。今後も和書・洋書・和洋雑誌、視聴覚教材、電子ジャーナルなどで、図書館をはじめ関係機関のご理解を得ながら質・量共に充実が図られ、教育・研究に生かされていくことを期待したい。

図書館の動き(2007年度)

□ 委員会・会議の開催

1. 図書館委員会の開催

- 第1回 平成19年6月7日(木)
- ・平成19年度学科図書費について
 - ・「論文集」第41号の発行について
 - ・入館管理システムの導入について
- 第2回 平成19年7月26日(木)
- ・論文集の進捗状況について
 - ・外国雑誌の継続購入について
 - ・「GALE」の契約タイトル更新について
- 第3回 平成19年11月22日(木)
- ・平成20年度学科図書費について
 - ・継続雑誌について
 - ・教養図書の選書について

2. 図書館職員会議

- 第1回 平成19年4月19日(木)
- ・入館管理システムの現状について
 - ・業務分担について
 - ・書庫作業について
- 第2回 平成19年5月31日(木)
- ・入館管理システム導入の日程について
 - ・選書ツアー(第1回)について
 - ・目標管理シートについて
- 第3回 平成19年7月20日(金)
- ・入館管理システム導入の進捗状況について
 - ・蔵書点検と看護関係図書の配架場所について
 - ・基調図書について
- 第4回 平成19年10月10日(水)
- ・評価委員会の現地調査結果について
 - ・平成20年度予算案について
 - ・選書ツアー(第2回)について
 - ・読書感想文・図書館クイズについて
- 第5回 平成19年12月11日(火)
- ・AV資料の相互利用について
- 第6回 平成19年3月5日(水)
- ・平成20年度図書館カレンダーについて
 - ・新入生の利用指導について

□ 職員の異動

長谷川 洋子	ユニットリーダー	異動	(平成 19 年 4 月 1 日付)
高島 智子	派遣職員	採用	(平成 19 年 6 月 1 日付)
笠井 智子	派遣職員	退職	(平成 19 年 12 月 31 日付)
小林 理恵子	派遣職員	採用	(平成 20 年 1 月 8 日付)
小野田 有希	契約職員	退職	(平成 20 年 1 月 13 日付)
谷 昌子	チーフ	復職	(平成 20 年 1 月 14 日付)
門田 泰典	館長	退職	(平成 20 年 3 月 31 日付)
今村 智子	リーダー	退職	(平成 20 年 3 月 31 日付)
田中 美生	契約職員	退職	(平成 20 年 3 月 31 日付)
中島 ゆか	アルバイト	退職	(平成 20 年 3 月 31 日付)

□ 図書館職員の出張・学外研修

- 平成 19 年 4 月 21 日 (土) (大阪市立大学)
日本看護図書館協会第 17 回総会 [長谷川ユニットリーダー出席]
- 平成 19 年 5 月 30 日 (水) (大手前大学)
私立大学図書館協会西地区部会 第 1 回阪神地区協議会定期総会 [長谷川ユニットリーダー出席]
- 平成 19 年 6 月 8 日 (水) (金城学院大学)
丸善ユーザー会 [長谷川ユニットリーダー出席]
- 平成 19 年 6 月 15 日 (金) (立命館大学)
私立大学図書館協会西地区部会 総会 [長谷川ユニットリーダー出席]
- 平成 19 年 6 月 21 日 (木) (関西福祉科学大学)
第 1 回阪神地区相互利用担当者連絡会 [田中職員出席]
- 平成 19 年 7 月 17 日 (火) (旭日屋書店本店)
第 7 回選書ツアー [長谷川ユニットリーダー・田中職員出席]
- 平成 19 年 7 月 23 日 (月) (神戸女学院大学)
第 105 回兵庫県大学図書館協会総会 [吉村チーフ出席]
- 平成 19 年 8 月 6 日 (月) (宝塚造詣芸術大学 梅田キャンパス)
第 1 回阪神地区研究会 [田中職員出席]
- 平成 19 年 9 月 6 日～7 日 (木・金) (立教大学)
私立大学図書館協会 総会 [門田館長出席]
- 平成 19 年 9 月 12 日 (水) (神戸大学)
N I I 目録講習会 図書コース [田中職員出席]
- 平成 19 年 9 月 19 日 (水) (国立国会図書館関西館)
近畿イニシア 国立国会図書館データベースフォーラム [吉村チーフ出席]
- 平成 19 年 9 月 25 日 (火) (キャンパスプラザ京都)
図書館と N I I の集い [笠井職員出席]
- 平成 19 年 10 月 16 日 (火) (京都大学)
文部科学省短期講習会 [田中職員出席]
- 平成 19 年 11 月 19 日 (月) (旭日屋書店本店)
第 8 回選書ツアー [田中職員・高島職員出席]
- 平成 19 年 11 月 27 日 (火) (大手前大学)
兵庫県大学図書館協議会 施設見学会 [長谷川ユニットリーダー・高島職員出席]
- 平成 19 年 11 月 29 日 (木) (関西福祉科学大学)
第 2 回阪神地区相互利用担当者連絡会 [田中職員出席]
- 平成 20 年 2 月 1 日 (金) (ハービス PLAZA おおさか)
EBUSCO「情報リテラシー教育」研究会 [長谷川ユニットリーダー出席]
- 平成 20 年 2 月 22 日 (金) (関西福祉大学)
私立大学図書館協会 阪神地区協議会研究会 [長谷川ユニットリーダー出席]
- 平成 20 年 3 月 7 日 (金) (TKP 御茶ノ水ビジネスセンター)
丸善図書館システムユーザー会 [長谷川ユニットリーダー出席]

□ 人間看護学科関係資料の受入れ冊数（平成 19 年度）

和 書（冊）	洋 書（冊）	学術雑誌（種類）	A V 資料（タイトル）
1,617	77	53	117

□ トライやるウィーク（体験活動週間）の中学生受け入れ

- ・ 6 月 4 日（月）～6 月 8 日（金） 南武庫之荘中学校 1 名
- ・ 6 月 11 日（月）～6 月 15 日（金） 日新中学校 1 名

《トピックス》

ID カードによる入館システム稼働

平成 19 年 9 月 20 日より図書館に ID カードによる入館システムを導入いたしました。これにより、利用者証がなければ入館できなくなり、セキュリティがより強化されました。また、学科別の利用統計が、年・月単位はもちろん、時間別・曜日別など必要に応じて詳しく抽出することができるようになりました。今後、利用者にとってよりよいサービスを提供していくために活用していきたい所存です。

《資料増加状況（平成 19 年度）》

		増加数	累 計
図 書	和 書	7,663 冊	235,905 冊
	洋 書	337 冊	41,346 冊
	合 計	8,000 冊	277,251 冊
逐次刊行物		23 種	2,624 冊
A V 資料		864 点	12,131 冊

《貸出状況（平成 19 年度）》

	貸出図書数	利用者数
学 生	18,190 冊	4,561 人
教職員	4,448 冊	648 人
その他	2,857 冊	412 人
合 計	25,495 冊	5,621 人

《開館状況（平成 19 年度）》

曜 日	開館日数
月曜日～金曜日	224 日
土 曜 日	40 日
日曜日・祝祭日	10 日
合 計	274 日

《相互協力利用状況(平成 19 年度)》

種 類	受 付	依 頼
複 写	297 件	415 件
貸 借	37 件	8 件
閲 覧	20 件	6 件
合 計	354 件	429 件

【編集後記】

平成 19 年度は、人間看護学科関係図書整備 3 カ年計画の完成年次にあたる特別予算の最終年度であり、9 分類に仮配架していた看護学科関係図書を 4 分類に移動し配架整備を行いました。また、9 月には ID カードによる入館システムを稼働させ、学生教職員にもやっと定着してきました。今後の利用者サービスの向上に役立てていきたいと思っています。 〈編集担当 長谷川洋子〉

RENDEZVOUS 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報 No.35

【発行日】 平成 20 年 3 月 31 日 【発行所】 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館
〒661-8520 尼崎市南塚口町 7 丁目 29-1 Tel : 06-6429-9931 Fax : 06-6429-2822
http://www.sonoda-u.ac.jp/tosyo/ E-mail:lib@sonoda-u.ac.jp